

世界史B

(002東書・世B012・新選世界史B)

担当:山本 明俊

レポート提出回数 12

単位数 4

必要面接時数 4

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
目標に向けての具体的な取り組み	①世界史の学習内容は現代を理解する上で重要な内容を含んでいるため、可能な限り学んでいる内容が現代の課題とどう関連しているかを考えながら学習をすすめよう。 ②単なる語句の暗記でなく、歴史上の出来事の因果関係(原因と結果)を重視して学習しよう。 ③歴史の時間的つながり(縦の関係)だけでなく、地域的なつながり(横の関係)にも気をつけて学習してみよう。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(編)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	世界史への扉序章 文明の始まり 第1章 西アジア・地中海世界の形成	世界史学習への関心・意欲を喚起する。(第1部 文明と地域世界の形成) ・文明の成立過程を筋道を立てて理解する。 ・西方の古代文明についての関心と理解を深め、欧米文化とイスラム文化の起源であることを認識する。 ・ローマ帝国がどのように大帝を支配したか、その特徴を理解するとともに、ローマ文明やキリスト教の後世への影響について考える。 ・仏教とヒンドゥー教を中心に南アジア世界の特色を把握する。	・オリエント文明の形成 ・ギリシア世界とオリエント ・ローマ帝国と地中海世界 ・古代インド文明の形成 ・ヒンドゥー国家と社会の形成 ・東南アジア世界の形成	No.1	5/12	5/3	第1回 7/19	レポート テスト
				No.2	6/9			
6月	第3章 東アジア・内陸アジア世界の形成	中華文明の形成と周辺への拡大過程を把握し、遊牧民の役割にも気付く。(第2部 ユーラシア諸地域の交流と再編) ・西方古代文明の後継者としてのイスラム世界の成立を確認する。 ・イスラム世界の繁栄とその文化上の功績を認識し、イスラムへの関心を深める。	・中華文明の形成 ・秦漢帝国と遊牧国家 ・隋唐帝国と東アジア諸民族 ・イスラーム国家の成立 ・軍人政権の時代 ・アフリカ・南アジア ・イスラームの文化	No.3	6/23	6/21	教科書 p17～p85	面接授業
				No.4	7/7			
8月	第5章 ヨーロッパ世界の形成と変動 第6章 内陸アジア世界と諸地域世界	・ゲルマン民族の大移動を契機にヨーロッパが変貌していく激動の過程を理解していく。 ・ヨーロッパ中世の社会と文化を把握し、近代とのつながりにも気付く。 ・中国の都市文明の発達、モンゴル帝国の歴史的意義を把握する。 ・ユーラシア諸地域世界の発展と交流を理解する。	・ビザンツ帝国と東欧 ・西ヨーロッパ世界の成立 ・ヨーロッパ世界の変動 ・契丹・女真と宋の抗争 ・モンゴル帝国の興亡 ・ユーラシア諸地域の交流 ・明清帝国の繁栄 ・東アジア諸国の発展 ・東南アジアの大航海時代 ・イスラーム諸国家の繁栄	No.5	9/8	9/6	第2回 11/1	レポート テスト
				No.6	9/29			
10月	第8章 ヨーロッパ世界の拡大と大西洋世界	・ヨーロッパ世界の拡大が世界史に及ぼした影響(現代に至る世界の一体化過程)を考える。 ・大航海時代、ルネサンス、宗教改革が密接に関係していることを理解する。 ・主権国家の成立過程を把握し現代世界の原型が生まれたことを理解する。	・大航海時代 ・ルネサンスと宗教改革 ・近代主権国家の成長 ・ヨーロッパの進出とアフリカ・アフリカ ・産業革命 ・アメリカ合衆国の成立 ・フランス革命とナポレオン ・国民国家の建設 ・ヨーロッパの文化	No.7	10/6	10/4	教科書 p86～ p171	面接授業
				No.8	10/20			
12月	第10章 世界市場の形成とアジア諸国 第11章 世界の分割	・欧米の産業資本主義の発展がもたらしたアジアなど他世界への影響を把握し、帝国主義の特徴を理解する。 ・アジアなどのナショナリズムの形成と、第一次世界大戦に至る外交過程を把握する。 (地球世界の形成)	・欧米諸国のアジア進出 ・西アジアの変動 ・南アジア・東南アジアの変動 ・東アジアの変動 ・世界を支配する国々 ・アジアの民族主義と国家建設 ・世界の一体化 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制 ・アジアの独立運動と革命	No.9	11/17	11/15	第3回 2/21	レポート テスト
				No.10	12/22			
2月	第12章 二つの世界大戦と世界2	・2つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、戦争の被害と影響を把握し、平和の意義について考察する。 ・大衆社会の出現等の現代社会の形成にも気付く。	・アメリカ合衆国の繁栄 ・世界恐慌とファシズム ・第二次世界大戦 ・冷戦の展開 ・平和共存の模索と多極化 ・冷戦の終結と地球社会	No.11	1/12	1/10	教科書 p172～ p249	面接授業
				No.12	2/2			
3月	第13章 戦後世界の形成と変容 終章 21世紀の課題	・東西冷戦、アジア・アフリカ諸国の独立を把握し、現代世界における冷戦の遺産や南北問題についても考察する。	・核の時代に生きる ・民族や文化の違い ・青い宝石・地球 ・開かれた日本にむけて					

3. 評価の観点

評価の観点	観点の内容
関心・意欲・態度	歴史的事象に対する関心と、課題意識を高め、意欲的に追求しようとしているか。
思考・判断	歴史的事象から課題を見つけ、国際社会の変化を踏まえ、世界的視野に立って多角的に判断することができるか。
資料活用の技能・表現	資料・情報を収集活用し、歴史的事象を追求する方法を身につけることができたか。また、その過程を適切に考察できたか。
知識・理解	日本・世界の形成の歴史的過程についての基本的知識を身につけているか。